

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	509 ふれあいの里施設管理運営事業										
予算科目	01-060110-11		ふれあいの里施設管理運営に要する経					担当部課	経済部筑波ふれあいの里		
市長公約	127-1								係名		
戦略プラン										新規・継続	継続
										事業分類	自治事務（任意）
										事業体制	一部委託
個別計画									事業期間	毎年度	
根拠法令等									SDGs		

事業の概要

対象	市民、市民以外
目的	学童や都市生活者及び市民等が自然環境や農業に対する理解を深め、都市と農村の交流を図る。
概要 (取組内容)	実習館、コテージ、そば打ち・草木染め体験施設、バーベキュー場施設の運営管理。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	51,900	74,081	86,152	92,812	92,812	
	決算額	(千円)	62,087	64,057	78,807	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	46,092	47,394	63,031	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	15,995	16,663	15,776	0	0
人件費	人件費計	(千円)	13,645	13,838	14,476	13,838	13,838	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		会計年度任用職員有無	(一)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	広報紙及びホームページ
企画・立案、計画	特になし
実行	アンケートの実施
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	年間宿泊者数 (人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	8,500.0	8,500.0
	実績	8,545.0	3,257.0	4,182.0	5,294.0	4,673.0	4,265.0
	指標の概要	実習館・コテージ・キャンプ場の年間宿泊者数					

2	指標名	施設利用者数 (人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	8,500.0	8,500.0
	実績	7,293.0	2,013.0	1,930.0	3,774.0	4,451.0	4,986.0
	指標の概要	そば打ち体験、染色体験、バーベキュー施設の年間利用者数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		施設の利便性と稼働率の向上を図るため、10人用コテージ2棟の屋根・外壁外改修工事を実施した。
成果		コテージ施設の改修工事により、施設の利便性と清潔感が増し、利用者に快適な施設を提供することが出来た。
課題	業務	施設の利便性及び稼働率向上のため、今後も老朽化している施設を計画的に改修していく必要がある。
	組織、予算等	特になし。
改善目標		コテージ屋根・外壁外改修工事については、令和8年度末までに残り4棟（4人用・6人用 各2棟）の改修工事を実施し、施設の快適化と魅力度アップを図り、稼働率の向上を図る。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—